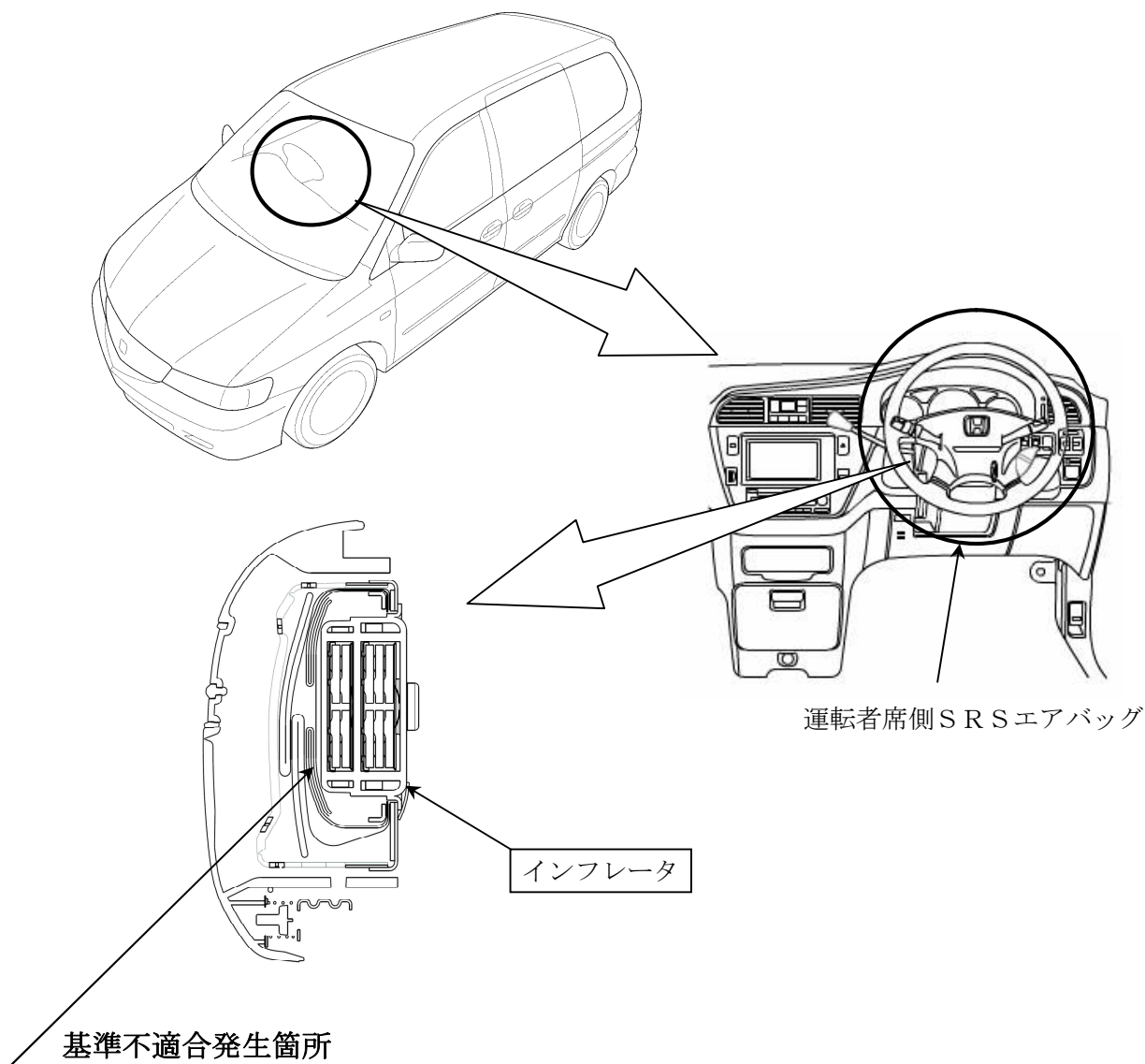


改善箇所説明図



運転者席側SRSエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、インフレーター製造時に乾燥剤が吸湿した状態で組み付けられたため、環境温度変化の繰り返しにより、ガス発生剤が劣化するものがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇して、インフレーター容器が破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、運転者席側SRSエアバッグのインフレーターを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：運転者席側ドアストライカー上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。